ないのです。

道

後

新園舎完成

子どもたちに良いものを

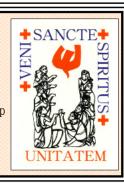
道後聖母幼稚園園

しかし、大海はその一 身感じています。 とは大海の一滴にすぎ るのです。 適分は少なくなって マザー・テレサの言葉

松教区報

2022年7月17日 (第208号) 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会 〒760-0074 高松市桜町1-8-9 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484 Email

教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp 広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp 生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



次のステップへ

ルイス・グティエレス師

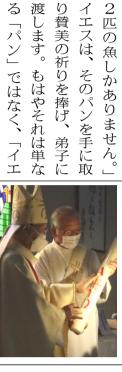
ビエル・レチョン師

「福音マーケット」の奉仕

テップを思い起こさざるを得 拡大すると再び感染増加に転 向にあります(6月現在)。 絶えていた2018年以来の す。そんな中、コロナ禍で途 常の典礼に戻ろうとしていま がら各地区の教会は次第に通 きつつも、感染対応を整えな か、感染者が減少している傾 る免疫獲得によるのでしょう じるのではないかと危惧を抱 これから夏に入り人の流れが 「福音マーケット」の次のス ワクチンの接種や感染によ 諏訪榮治郎司教 その豊かさに驚いた次第です。 とを「福音マーケット」を通 喜びの「ぶどう酒」に変えら たちに託したのです。大勢の 教会生活を通しながらもあま して次第に気付きだしました。 スの宝」をいただいているこ れた恵みを思い起こします。 たのです。味気ない「水」が 人々は、食べ満たされ癒され 「あなた方で私を配りなさい」 の「目録」をみて、私たちは り気づいていなかったその宝 たちは「恵みの豊かさ・イエ と主は促されているのです。 イエスによって養われた私

す。「ここには5つのパンと なさい。」弟子たちは言いま 後を追いかけ従おうとする群 なた方が彼らに食べ物を与え は弟子たちに言います。「あ を見たイエスの心は張り裂け 羊のように途方に暮れる群衆) 衆(あたかも飼い主のいない ました。イエスと弟子たちの のではないかと思い筆をとり 音書9章は、「福音マーケッ んばかりになります。イエス ト」について語っておられる 「主の聖体」主日のルカ福 います。 ケット」の奉仕者として、 クで協力しながら(コロナ禍 ができるのか、地区・ブロッ それを配り、分かち合うこと れた宝に気づき、どのように と言われます。教会に与えら だしい「飢えと渇き」です。 孤独・別れ・後悔・・おびた たび入ります。病・老・死・ のステップを再開したいと思 にありながらも)「福音マー 「私にも飲ませてください」 近ごろ旧友から電話がたび

長様、竹葉様に「なんでも言っ



る「パン」ではなく、「イエ

渡します。

り賛美の祈りを捧げ、

スの聖体」

を配るように弟子

桜町教会

復活徹夜祭にて 2 1 一階は玄関 スタルホー

ル

司祭叙階金祝

殉教者聖ペトロ修道院において司祭叙階。 1972年6月29日、

後聖母幼稚園副園長、松山教会主任を歴任。

現在は聖ヨセフ修道院にて静養

学科卒業。

聖ドミニコ修

神学院哲学科• 道会司祭。スペイ ン・アビラ県出身 殉教者聖ペトロ 神

3年来日。上智大学神学科聴講生。 松山教会助任、道後教会主任、ロザリオ学園道

り」を目指し、 を探り続けた。 教会の主任として在任中は「開かれた教会づく 地域社会の中で宣教する教会の姿

に至る。

ドス

ペイン・ヴァリャドリッ 聖ドミニコ修道会司祭。

県出身。

象記その15がありました。そ

剛東京大学名誉教授の海外印 イフサイエンス8号に上野

れは上野先生のスペインのビ

ルバオというバスク地方で一

スペイン・マドリッド市 $\frac{1}{9}$

上智大学大学院卒業。上智大学研究生。UCA News教者聖ペトロ修道院において司祭叙階。1973年来日。 特派 ペイン・マドリッド市殉1972年6月29日、 究生。UCA News 科・神学科卒業。 殉教者聖ペトロ神学院哲

幼稚園園長、愛媛地区中予ブロ母幼稚園園長、ロザリオ学園理時がリオ学園の橋浜型母幼稚園園 会主任、ロザリオ学園天使幼稚園町海の星幼稚園副園長、西条聖マ ツ 長 ク協力司祭を歴任、現在長、ロザリオ学園海の星 園長、郡中教会主任、ロリア幼稚園園長、西条教 ロザリオ学園宇和島聖

> の生誕地アスペイティアがあ ビエルを信仰に導いたロヨラ れたサンセバスチャンや、ザ ゆかりの深いザビエルが生ま このビルバオの東には日本に 番大きな町の訪問記でした。

ります。この2人がパリ大学

のために努力した。 ドミニコ会の正義と平和の担当 一者であり、いつでも平和

町で1939年、スペイン内

誕地バスク地方のゲルニカの

り虐殺され、ピカソのゲルニ 戦中に住民が無差別空爆によ

力が平和の象徴として描かれ

が伝えられました。彼らの生

によって日本にカトリック教

され、その15年後、ザビエル で出会い、イエズス会が創立

安を抱えて道後聖母幼稚園に カトリック道後教会の津村議 任園長より引継ぎ、大きな不 転勤してきました。着任後、 舎建替えのプロジェクトを前 私は、2021年4月、園 松本綾美 クリスタルホール内部

協力しますよ。」と笑顔でお めに必要なことは、なんでも てください。子どもたちのた 私の大きな不安 間に1年が経ちました。この、 希望の光が灯り、 竹葉様からお借りした「カト は吹き消され、すぐに大きな リック道後教会 原稿を書く機会をいただき、 献堂50周年 あっという

話いただき、

1956年4月2日に平屋 宣教の様子。歴史を重ね、 厳しいキリシタン時代の

> と記されていました。 を優しく見守っていた。 コンクリート造で大きなマ た園舎は、一部が3階建て 教会が1959年6月28日 落成、ゴシック風の現在の 司祭館が1957年2月に れ園児85名で開園、その後、 リア像が平和のシンボルと して設置され、子どもたち に完成。2回目に建設され 聖母幼稚園」と名付けら

> > のバスク地方から多くの司祭 たことは有名です。そしてこ

28日」には、教会の歩みとし 記念誌 発行2009年6月 どもたちが生き生きと生活が ク道後教会の信徒の皆様、 コ修道会の神父様方、カトリッ られた歴史とともに、ドミニ できることを願い、積み重ね と、整えられた環境の中で子 なり2022年3月18日に完 オ学園の教職員の心が一つと 設に関わる全ての方、園児、 「子どもたちに良いものを」 3回目となる新園舎は、 地域の皆様、ロザリ

ています。

袁 |庭のシンボルツリー

への道は叶わないことで

建て木造園舎が落成し、 私たちの願いです。新しい出 に意味があることを学ばせて さったことに、すべてのこと 園」 であり続けていくことが ニティーが生まれる「平和の 族の皆様が集い、新しいコミュ 信徒の皆様と子どもたち、家 らも、カトリック幼稚園とし 7月末の園庭整備完成を待つ なシンボルツリーが植樹され、 成いたしました。 を感じる日々に、 いただいている神さまのお力 て地域に愛される園、そして、 ばかりとなりました。これか 大きな喜びをもたらしてくだ 会いから灯った希望の光が、 先日、 深く感謝し

民 が召命を受けました。

神父と仕事を共にした際、イ きました。多数の司祭召命 ク地方の司祭が多いことを聞 エズス会には彼をはじめバス ス会のヘネロソ・フローレス 空爆のニュースは、このゲル れているウクライナの無差別 後、多くの聖職者を生むこと クライナでの虐殺行為は、今 無縁ではないと思います。ウ ずにはいられません。イエズ ニカでのドイツ空軍による住 は、ゲルニカの問題と決して になるのかもしれませんが、 へ々の不幸を土台にしない信 への無差別攻撃を思い出さ この数か月間、毎日報じら

はばたき

知人に紹介された小冊子ラ

カトリック高松司教区



◇◇前書き◇◇

カトリック高松司教区

21年度) で、カトリック信者 34%に比べても3分の1以下 る実働司祭数は14名で、その と低く、日本国内においても最 534人の0・11%と、日本 の割合は地域総人口384万5 なり総信徒数4332名 (20 巡礼地である。25小教区から 寺院からなる広く知られた仏教 柄であり、域内全域が88仏教 は仏教の伝統が非常に強い土地 未整備な地域である。この地域 教区所在地も日本国内でも人口 フルタイムで司牧にあたってい も信徒数の少ない教区である。 全体のカトリック信者の割合0・ て少ない司教区の一つであり、 本司教区は所属信徒数が極め 公共交通機関等が

れは、教区小教区の次の 告書」を掲載します。こ でのシノドスの歩みの報 るものです。 ステップへの一里塚とな

髙 松司教区における シノドスへの歩み

シノドスに先立つ数年前から

たちの日常的な関心とは少しず う困難な状況下にも関わらず、 めを見ると、来たるシノドスに 各小教区がまじめに取り組んで など教会活動に対し)という大 る行政からの制限(移動や集会 各小教区において一応のまとめ あたり教皇が、まず私達の声を 分かち合いの焦点が曖昧になら れており、しかも分量が多く、 理があり、且つ、内容的にも私 ゆくにはスケジュール的にも無 きな不運且つ困難を別にしても、 が書けるところまで信徒の話合 ざるを得なかった。 いえ、コロナウイルス流行によ いを続けることができた。とは プがあったためコロナ流行とい いても、司教の強いリーダーシッ しかし、各小教区からのまと 今回のシノドスへの歩みにお して何が提供できるか、どのよ り、それによって地域社会に対 のような力や可能性をもってお "福音マーケット (私たちがど

応処理をほどこした後、教区シ 教区に対して必要と思われる適 幸いなことに本教区においては、 が先頭に立って、ぶれることの 初の戸惑いを乗り越え、精一杯 を示した結果、教区民一同も当 を介して教区内全小教区に周知) ドス準備文章を自ら整理し、本 ない強いリーダーシップ(シノ 当初は戸惑い困惑したが、司教 し、そのミサはインターネット 、ドスの開会ミサでそれを説明 取り組みを行うことができた。 本教区での歩みを振り返ると が強調されがちであったが、一 問題もある」と、分かち合いで 指摘の中には、受洗の有無といっ ることが困難」「差別的という は教会活動での負の面や反省点 いといった人間関係に起因する しがくどいなど性格的に合わな 社会経済的な問題、我が儘や話 だけでなく無職・貧困といった たメンバーシップに関するもの した目標が持てないから来続け

歩みを取り組むことができた。 上に、教区としてシノドスへの い分かち合うことが制限された ることや、ましてグループで集 で、行政の指導により教会に来 きており、信徒の意識は少しず 商品)についての理解を深めて から宣教への宝(マーケットの グループに分かれての分かち合 られてきていた。各小教区で小 取り組みが数年にわたって進め うに貢献できるかの検討) # の いた。今回コロナウイルス流行 つだが着実に刷新に向ってきて いを重ねて来ており、その蓄積 これまでの積み重ねの延長 ど、不足な点があるにしても、 る傾向を示している。将来に対 な発言は難しく)、問題を感じ の教会活動に対して自信を持ち 気付かされる。この点について 杯の努力がなされていることに 規模教会としては、かなり目一 は、この程度の小規模教区・小 「旅の同伴」という点に関して しての不安や意思疎通の不全な 問題点を指摘することに傾斜す くとも、そのようなポジティブ 誇りを持つことが難しく(少な ているものにも心を留め、感謝 識別すると、私たち教区民に対 しもっと持っているもの・受け 自信を持って前を向いて歩

◇◇本文◇◇

むよう、聖霊が呼び掛けられて

聴こうとされていることへの驚

き、そして教皇の期待に応える

ある。教区規模が小さい利点も うち70歳以上の司祭が3名で

つ協力的で、司教のリーダーシッ 的距離が近く、互いに補完的 あり、司教、司祭、信徒の心理

/がとり易い。

課題1 「信者でありながら教会に来 旅の同伴

だ、その成果が十分には身に付

マーケットをしてきた割に、ま

いていない。この点に関して歩

要なことを示している。

高松教

ている。

ない人・来れない人が急に増加

ことを喜ぶ声が見られ、本教区

におけるシノドスへの歩みは、

応は、成功しつつあると思わ

など人為的要因もある」「共通 会内対立や差別的扱い、外国語 流行など自然要因もあるが、 理由には高齢化や感染症

教区民の場合、自分と自分たち あった。これらの発言は、高松 りに歩んでいる」という発言も 方では、「難しい難しいと思っ ているが、外から見ればそれな れる。 の監督・指導・法整備はローマ 特権修道会の権限や超教区団体 教区での対処は事実上難しく、 発言に含まれて話されていた可 が対応するべきレベルかと思わ 及びにくい部分だけに教区・小 ない。教区司教の監督・指導が ては旅を妨げるものとなりかね に生きる信徒の旅の同伴者とし に活動する団体については教区 修道会や自分たちのためばかり 能性はあり、教区内の特権的な 教会内対立や差別的扱いなどの 的な言及はなかった。しかし、 超小教区団体)についての直接 における他の構成員(修道会や この課題の中では、 高松教

課題2 聴くこと

る人に対しては難しい。小教区 らうことを必要としており、そ 身も一人ひとりが耳を傾けても 常の教会生活の中で、私たち自 方々の意見を聴くことができ良 聴きたいが、精神的に病んでい 私たちに伝えたい声に気付かさ ることが大事だが、日曜にも仕 実は聞き流していることも多く、 かった」。これらの発言は、日 「今回の準備を通して外国籍の れる」「見捨てられた人の声も しい」「人々の声を通して神が 事があり度々時間を割くのは難 「聴くためには何より時間を作 交わりが希薄になっている」 に対応できるだけの能力がない」 「聴くより話してしまったり、

むべき道は日常生活のレベルが 主であろう。

のための工夫と時間の確保が必 ので、 にも、 指導もあり中規模以上の小教区 ていたが、この3年間は行政の トでの分かち合いなど)ができ に反映されている。

耳を傾ける活動(福音マーケッ 前には、それなりに互いの声に 区では、コロナウイルス流行以 かな を続 出会いが少ないだけにむずかし こちらが一方的に呼びかけ け、ドアを開けておくのが い人々の声を聴くことは、

ではそのような活動が実施でき 課題3 声に出すこと

てもの方法であろう。

松教区には修道会が少なく、修 の教会活動の再開に向けた工夫 道者と接触のない小教区も多い を続ける必要がある。また、高 なかったことも、これらの発言 いが、教区としても全小教区で 日常活動レベルでの対応が多 組織的な革新を必要とし 今後召命を促進するため 教会の関わりの行き届 があり、信仰を前面には出さな 報や て見られている。一方、「雑談 であることが軽い警戒感を持っ い形でのコミュニケーションが の中で自然な形で表す」「教区 く人が身構える」「婚家では難 現状 る い」と、現実社会では信仰者 「自由に話す」という人が居 での信徒としての宣教手段 小教区報を配る」との発言 方で「宗教というだけで聞 今できること(可能性)を提示 であり意味もないが、私たちに の解決を押し付けるのは不可能

故使徒ヨハネ松永洋司神父様 紐差教会での追悼ミサン 納骨式

間、紐差教会は平戸島のほぎ伊万里を経由して約8時 上にあり、真っ青の空にロ ば中央にあたる小高い丘の 紐差教会にて行われました。 教会である長崎県平戸市の 追悼ミサと納骨式が、出身 天された松永洋司神父様の 高松市から電車を乗り継 5月22日(日)、昨年帰 諏訪榮治郎司教 故様 さいました。祭壇の前に優 スター方が待っていてくだ 松 5 しく微笑んでおられる神父 時 類 のご遺影を安置したとき、 代からの友人の方々やシ の方々、幼少 水神父様の親 れた聖堂には 美しく整え

ク墓地があり、どのお墓も 堵された微笑みに見えまし 教会近くの丘にカトリッ しく堂々たるもので、 郷の地にお帰りになり安 全 輪に帰られたように思えま ら御礼を述べ、また新たな 思うとき、やっとご家族の 方々との出会いを感謝しつ した。 ご遺族のみなさま

に心

らに司祭叙階から55年、

家を離れ東京神学院に、 ました。思えば少年時代に

てに生花が供えられてあ

松教区に奉仕されたことを

な出来事を内に秘めながら 歴史の流れの中でいろいろ びえ立つ美しい教会でした。 マネスク様式の白い塔がそ

め司祭職の召命を願 ながら、帰途についた 旅に立ち寄ることを願 つ、またいつか巡礼の 次第です。 い、数少ない司祭のた

であることが示された。「教会 とりの状況が異なるだけに一律 ている姿を示している。一人ひ 者のあり方とは?」との問いに、 との調和を重んじ本気で何かに た。これらの体験は、「『周り ている」「小教区の行事につい にとっては信仰を知る一助となっ の看板や掲示板も教会外の人々 いう我が国の文化における信仰 コミットすることは避ける。と 換が、とくに外国人にとっては 重要」という気付きも報告され てはインターネットでの情報交 人ひとりの信徒が立ち向かっ

が示されている。この課題につ

ず日本社会にとって大きな課題

しているようで、教会のみなら

われる人に対しても働きかける 可能であろう。縁なき衆生と思 や文集のようなものにより実現 は、教区レベルでの分かち合い

でも典礼に関しては工夫する姿 外感を感じる人もあるが、「一 薄」、「高齢化で奉仕が難しい」 らたに」など、喜びや新生を示 向かっている」「深みを感じる つひとつを丁寧に」と困難の中 「自分一人の世界で連帯感は希 「ミサと典礼は祈り」「神に 「習慣的に参加」 対しても文筆活動は一定の効果 かない人々と思われている人に

の体験をこちらの課題にも振り いて他の課題での体験や未分化 作成者が適宜、体験内容に基づ まとめを作成するにあたっては 本教区の信徒にとって、これら らぬということを差し引いても、 の課題に対する体験の薄さを示 少なく、課題が多すぎて手が回 していると考えられる。以下の 後半の課題に対しては発言が 「チャンスがなく関わってな

指導など)に十分触れていない

つの理由は教会の持つ豊かさ

題を感じてはいないが、その一 いて、教区民は現状にあまり問

あろうと思われる。典礼に対し

も知らないことによる可能性も

ため、その豊かさに向けた渇き

な真剣さがあるが、日本の教会 て、その参加する態度には非常

課題 5 宣教における共同

方で、「葬儀は宣教の場」「幼 に結びつかない」「自分には無 稚園との連携」と具体的な機会 理」「異教徒だという感覚」と、 般論では消極的な声がある一 「頭で分かっているが、行動

値観(金や時間への)など日本

待も知らないということではな め豊かな霊的生活への渇望も期

か。司祭の不足や一般的な価

会一般に共有されている価値観 持っている宝(祈りの喜びや深 想定される。実際的には、今む 性は別にすれば、文筆活動等が しろ、典礼に参加する人たちが 歩むべき道としては、日本社 会を」「殉教者について学びた しては「教会とは無関係に地域 い」と信徒としての基礎力への

出会いの機会を大切にし、また、

信仰へのコミットを支え続ける

ろう。こういう領域にも、信徒 中では、教会の関わりの行き届 課題でもあろう。高齢化が進む ベルであるが、世界レベルでの ならびに日本の教会としてのレ の奉仕職を広げて行く必要性が ある。これらは日常生活レベル 区全体として必要であり可能だ し少しずつ広げて行くことが教 められる実感など)を育て強く 考えると、教会外の活動に参加 の行き届かない人々への働きを ている。日常生活レベルでの活 より身近なところにある機会を 教会としての動きにはなり辛い う巻き込むかについて迷い」と の人々と一緒に」「外国人をど しての働きかけも有効と思われ する中でのごく自然な会話を通 動が主であるが、教会の関わり 大事にすることの大切さを示し は、あまり高邁な目標を掲げる

課題6 教会と社会におけ

と各自の場での体験もある。 やCLC、MEなどの超教区的 的なことを示している。一方で、 の気付きもあり、大多数の教区 「基本は一人ひとりの刷新」と の活動ではない草の根の活動)」 園との連携」「形として見えな 否定的な声の一方、「併設幼稚 と宣教に連なる話は難しい」と い」「互いに尊重しようとする 化するためにも、レジオマリエ 民にとっては自分の場での継続 いところでの対話(組織として て現代の課題に気付かされ教会 こういう日常的なレベルを活性 るを得ない状況)その機会を逃 ことになる。レベルとしては、 などの社会状況の変化も、実は 祷会のような行事のみならず、 ベルでも誰かがスタートを切る 国一律でなくても一地方都市レ なのかもしれない。全教派や全 教会一致に向かわせる非常事態 る。信徒の高齢化や司牧者不足 さないことを呼びかけられてい

| される。 教会が変わるためには 社会との関わりが必要であり、 いかねばならない。 が変わって行けることに気付か 社会のフィードバックを受けて

課題7 他のキリスト教諸 派とともに

の声は、忍耐強く続けること、 中は主日のミサにプロテスタン はいないことを示している。霊 りになされていること、成果や や世界祈祷日への参加」「互い 協力しやすい」「市民Xmas その一方で「共通点があるので なので、本気の対話は難しい」 分の利益でなく共通益を求めざ れた時に(戦争や災害など、自 及び、我々の日常的な状況が破 あちこちで対話の努力がそれな ト教会の聖堂を借りた」との発 「八幡浜教会では聖堂建設期間 トリックの普遍性をもっと出す」 見通しが見出せなくても諦めて 言があった。これらの体験は、 「対話は難しい」「家の宗教

課題 9 識別することと決

会と司祭との養成が必要である がら責任をもって識別する主体 発言や、「考えを分かち合いな にそのような評議会について いるかとの反省がある。具体的 な組織や機関がうまく機能して と、例えば小教区評議会のよう 「機能不全が目につく」という 識別や決断という面で考える レベル、 み、安息日という時間を聖別さ おられる。日常レベル及び教区 与えられている時を大切に生き の重大性を、今一度思い起こし、 それだけが私たちにむずかしい。 向かい合う時間を取る」必要性 に気付かせる。「安息日には休 "時"を聖別されたということ

実現するだろう。 地域的な課題に取り組む中でも 既述のような災害対応のような

ことを示している。

涯養成の必要性があらためて識

別される。これは小教区及び教

シノダリティの中で

通点を」「司祭の高齢化で信徒 ない。「互いに相違点でなく共 の声を聴くという姿勢に希望を 実情に合ったもので、さらにそ として取り組みの方向が教区の の課題に関するこれまでの教区 のではっきりは言えないが、こ るほどには深まっていないこと は小教区での体験が言葉で表せ 数あった。今回のシノドスは一 れているように感じられる。 養成の必要性が、聖霊に求めら 側には "神の民" としての生涯 れを進める必要性、また、司祭 を示している。体験数が少ない に対する自覚が進んでいること、 は、小教区レベルでもこの課題 による補完が必要」という体験 感じる」という言葉がかなりの しかし体験の報告が少ないこと 「シノドスに先駆けて小教区 教会にはなってない」という声 「本当の意味での"神の民"の もに歩む教会と云えばよい」 発言は、信徒の質問内容への戸 があると集まりやすい」などの 課題 からは、本教区が取り組む協力 惑いを示しているように思える。 が共に考え歩むことが、依然と 「時間を作ること」「皆が神 10

改めて気付かされた。同時に霊 している。解決しがたい問題点 がともに歩む途上にあることを をあらわにしていると言うより して教区の課題であることを示 いて「自分と向かい合い、神と は、今回の10のすべての質問 への対応として、私たちが立ち

計

聖ドミニコ修道女会 シスター マリアテレサ上田三代子

1935年 宇和島市生まれ

大学生のときに神様と出会い、聖ドミニコ宣教修道女 会で61年の修道生活を捧げた。

スペイン語や英語の翻訳をいつも快く引き受け、特に、 無原罪の聖母に対するお祈りは欠かしたことがなく、い つも共同体のよいお手本になっていた。

りたい。」と言って、ご聖体の前で、平和のためによくお祈りし、最近は、ウクライナ のことを大変気にかけていた。

2022.6.4 坂出教会にて葬儀ミサ (イスマエル師司式)

「私は、神の家にいるのが嬉しいのです。」「聖人にな

天国から私たちのことを見守っていてくださいますように。(北条修道院談) 2022.6.1 坂出聖マルチン病院にて帰天(87歳)

Sr 上田の妹、菊池信子氏が所属する宇和島教会で追悼ミサ(申繁時師司式)

聖ドミニコ修道会

サトルニノ・ゴンザレス・デルガド神父

1926.6.4 スペイン・アビラ県生まれ

1951.9.9 司祭叙階 1952.10 来日、松山教会赴任 1952.10~1953.3 1985.11~1989.11 松山教会 1953.4~1957.3 1996.5~1998.5 今治教会主任

1999.5~2002.2 北条教会主任

2002.2~2006.3 松山教会主任 2006.4~2008.3 2009.4~2010.3 道後教会主任

1957.4~1981.3 学校法人愛光学園 宗教、倫理、英語の教諭

1965.4~1981.3 学校法人愛光学園 理事長

1969.2~1981.3 1995.10~1999.11 聖ドミニコ修道会ロザリオ管区 日本地区長

2022.6.5 松山聖ヨセフ修道院にて帰天(96歳)

◉

~愛媛地区~

竹葉純子さんがご報告します。 の跡地に芝生の園庭が7月に完 園の園舎の竣工式が行われまし お、3月12日に道後聖母幼稚 祝いのパーティーを行ってきま を配り、サンドイッチなどでお 復活祭には復活卵とマドレーヌ 例年通り公開されました。 聖土曜日と復活の主日ミサは、 教会にて合同で行われました。 聖金曜日は、 を公開にしました。聖木曜日と 4月10日の枝の主日からミサ ミサを非公開にしていましたが た。その後、 したが、今年はプレゼントもパー ィーもありませんでした。 旧園舎を壊し、 例年と同じく松山 1月23日から 毎年 そ な

答唱詩編は唱えるだけで、 新居浜教会では、聖歌は歌わず の佐渡一邦さんがご報告します。 新居浜教会からは、 広報担当 聖週

成の予定です。

の創立一〇〇周年記念ミサを受 この日一〇〇周年記念誌を

け

2022復活祭あれこれ 道後教会からは、広報担当の ました。 ら報告します。聖なる三日間は の主日ミサには30名が参加し 午後7時にミサ、復活徹夜祭に 新居田大作さんから、 で紹介します 5月8日より、 夜祭では朗読を最低限にし、 間のミサを実施しました。 宇和島教会では、 11日に最後のミサを実施し、 20名が参加、 今治教会からは、 会は中止しました。教会立て 日の洗足式は省略し、 しのため、現在の聖堂では5 典礼担当の後藤敏彦さんか 昨年11月20日に開催 修道院でミサを 翌10時の復活 堀内伊作議 広報担当の 別の記事 復活徹 聖木 祝



宇和島徹夜祭



八幡浜 復活日中ミサ参加者

配ってくださいました。八 来日した英語教師の信者さ くは高齢になり、 かかりますので、 幡浜から宇和島教会までは、 高速道路を含み約1時間が には中々参加できません。 いずれの愛媛地区教会も、 合同ミサ 信者の多 歌の合唱

◇ 教 区 ス ケ ジ ュ ー ル ◇

年間第14主日年間第15主日

年間第16主日

海の日

(月) 聖ヤコブ使徒

(日)年間第18主日

主の変容

年間第19主日 聖ドミニコ司祭 山の日

下田武雄師命日 年間第20主日

年間第21主日

聖バルトロマイ使徒 佐々木光雄師命日

福者ペトロ岐部司祭と187殉教者

教区司牧者研修会~18日まで

父母と高齢者のための世界祈願日

日本カトリック平和旬間 (15日まで)

7月 1⊟

3⊟ 10⊟

24⊟ (日)

6⊟

11⊟

24⊟

27⊟

洗礼やパーティーなどの行

 (\pm)

(木) (金)

(日)

(日)

(水)

(日) (日) (日)

されました。 日々の信仰を大切にするよう促 の申繁時神父が、「新たな一〇 〇周年への挑戦の宣言」を行い 発刊しました。 担当司祭 喜びがうかがわれました。 さに、共同体の復活に目覚めた ナ禍のミサ非公開から明け、 はありませんでしたが、

久しぶりのオルガンも

ました。 で足を洗っていただきながら、 主の晩餐のミサでは「洗足式」 エス・キリストを迎えました。 でオリーブの枝を持って、 できますように」と心から祈り 「私達も互いに足を洗うことが セフ郷文成神父様と共に、 私達今治教会では、 道行」を黙想し、聖週間にはヨ 約の中で四旬節に入りました。 この春も、コロナ禍の様々な 「十字架の 新居田大作 各自

長が報告します。八幡浜教会で

幡浜教会では、

清水裕子議

7年間の交流があったベト



今治 復活祭ミサ

賛美の喜びに満たされた 東讃ブロック~

目の復活祭を無事に迎えること ますが、コロナ禍で主日のミサ ムからの大勢の若い信者を迎え の夜のミサには普段の倍くら ルなどの地場産業で技能研修生 て共に祈り、交流に努めており として働くフィリピンやベトナ 齢化が進む一方で、 に与る信者の数は減っています。 そんな中でも、コロナ禍3回 年今治教会では、 (マスクをして)。こ 久しぶりにオル 造船・タオ 信者の は誰一人いない。しかし、 キリストが復活するのを見た者 くださいました。その説教を思 会ったと証言した。その喜びは おいでくださり、ミサを捧げて た。復活徹夜祭もありませんで 土曜日の午後に行われていまし のご入院により、半年間ミサは した主に出会った人は、確かに 小豆島教会では、 復活の主日の朝に司教様が 胸が熱くなりました。

ま 夜は本当に良かったね」と、 いに慶び合う徹夜祭でした。 70人の信者が参加し、 「教会の母マリア」 0 互. ちの心は、

げてくれました。彼らは「戦争 ロナの感染が終わりますように」 が早く終わりますように」「コ いただき、マリア様にお花を捧 ヨセフ郷文成神父様から聖水を い園児達全員を御聖堂に迎え、 れた教会」です。5月10日に は敷地内の若葉幼稚園のかわ 今治教会は「聖母に捧げら 小さな手を合わせていまし

南予ブロック 平和祈願折鶴奉納



が参加しました。南予ブロック 久しぶりにニューフェイス3名 帰国し、受難の主日ミサには、 ナム技能研修生の旧メンバーが

八幡浜では、

今治 マリア祭

とができました。 司教様司式の徹夜祭ミサを、 内に収まる参加者が集い、 ありました。聖堂の人数制限を から1人ずつ2人の成人洗礼が をあわせてともにお捧げするこ していましたが、ちょうど聖堂

西讃ブロック~

松永神父様 小豆島教会

久しぶりの日曜 復活 が集まり、高山神父様の司式の 活前夜祭の行事も、 がらマスク姿でのなか、 三密を避け間隔をあけてベンチ 聖金曜日、そして聖土曜日の復 読もスムースに行われ、 に座り、アルコールで消毒しな 下で粛々と執り行われました。 毎年の事ですが、 大勢の信者 聖木曜日、 聖書朗

子どもと女性をまもる委員会

聖職者による性的虐待

相談窓口

電話番号:087-831-6659

に待った復活主日のミサ、 いかほどだったでしょう。 賛美の喜びに満たさ 私た のみ で後ろからマイクで歌い、 事も無事終えることが出来 んは心の中での唱和でした。 た。ミサ中の聖歌は聖歌隊

番町からもミサ

も通りの流れで粛々と執り

曜日の復活祭のごミサも、

れ、日本人、フィリッピン

ベトナム人、イタリア人、

歌われ、皆さんは突然の出来事

めて「365日の紙飛行機」を んにお別れと感謝の気持ちを込 山神父様がギターを手に、皆さ ミサの後サプライズがあり、髙 も兼ねてする予定でしたが、ご 特に今年は髙山神父様の送別会 のですが、今年はそれもなく、

を桜町で、 けた典礼となりました。 お祝いとなり、 今年の復活祭もコロナ禍での 感染予防を心が

ぼ聖

堂がいっぱいになるくらい

人と多彩な顔ぶれで、ほ

加者でした。いつもなら、

ることができました。 の配信にも挑戦、 合同で、聖木曜日と復活徹夜祭 ました。桜町ではYouTu 聖週間は例年通り番町教会と eでミサを配信していました 聖金曜日には番町教会から 聖金曜日は番町で行 無事に配信す

色豊かな家庭料理を食べな

きました。

楽しいパーティーをする

サの後、各自が持ち寄った

て、皆さん三々五々と家路につ

達から配られた復活の卵を貰っ た。その後、日曜学校の子ども で感激をしながら聞き入りまし

復活徹夜祭には、桜町と番町 Ξ \leq F 司 9 レ 人余りの青年が参加しました。 Щ 堂 とのことでした。 ャンマー語でのミサは初め ャンマーのご出身ですが、 **神父です。ジャ・レ神父は** ミニコ会のピーター・ジャ・ 式は今年3月に叙階された でミャンマー語のミサがあ 6月12日午後、桜町教会聖 香川県と近県(愛媛、岡 兵庫、広島など)から30

ミャンマーは少数民族が多 言語も少しずつ違っている っで、参加者にはカレン族、 、族の方が参加しておら

しゃいました。

民族衣装を着た方もいらっ

行うかも知れないそうです。 ていて、次回は神戸か岡山で 語ミサを続けたいとおっしゃっ ジャ・レ神父は、ミャンマー

相談窓口受付時間 月曜日から金曜日(祝日除く) 午前9時~午後5時

高松教区対応チーム